

研究者の横顔

フリガナ	イヂチ ヒデアキ		
お名前	伊地知 秀明	助成金額	100 万円
ご所属	東京大学医学部附属病院病態栄養治療センター		
研究テーマ	KRAS阻害剤による膵癌の正常化および抵抗性獲得機序の解明		

1：研究者になろうとしたきっかけ

医師として最初に担当した患者が膵癌の患者であった。その当時から膵癌は最難治癌としてそびえる高い壁であり、その悪性度の高さを理解して予後を改善させることができないかという思いで、膵癌の基礎研究を開始した。

2：助成研究の内容紹介

膵発癌のドライバーであるKRAS変異に対する特異的阻害剤が臨床試験の段階に入り、今後の膵癌の臨床へのインパクトが期待される。ヒト膵癌をよく模倣する発癌モデルを用いて、KRAS阻害剤により個体内で膵癌が正常化する機序、また阻害剤に抵抗性となる機序を明らかにする。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

膵発癌のドライバーであるKRAS変異を標的とした治療は、他の治療の殺細胞効果などとは全く異なる働き方を示す可能性があり、その細胞内の変化や間質との相互作用が解明される。一方、抵抗性獲得機序も間質との相互作用も含めて明らかにし、その克服の方策を確立する。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

最難治癌である膵癌に対し、その発癌機序の根幹に関わるKRAS変異に対する阻害剤によって、今後、膵癌の予後が大きく変わることが期待されます。抵抗性獲得の機序解明から、それを克服する治療にもつながり、膵癌が最難治癌でなくなる時代になることを期待したいです。